



イネーブルガーデンコンサート 2025. 7. 12 報告

◆ 主催：札幌国際大学生涯学習センター園芸療法部門

イネーブルガーデンコンサートは、地域の皆さんへ、音楽を鑑賞しつつ、ガーデンの花や植物を觀賞して親しんでもらい、より地域に根ざしたガーデン利用を目指すために毎年開催されています。

本学生涯学習センター園芸療法部門主催による今年のガーデンコンサートは、雲一つない晴天で過ごしやすい気温に恵まれ、100名を超える観客で席が埋まりました。多くの方に緑の中で音楽を愉しみ、またガーデンを自由に觀賞される、魅力ある双方を十分に楽しんでいただくことができました。

さて、例年、コンサートの開催には、見えないところで、学生の力が生きています。訪れた地域の方に気持ちよく過ごしていただくための設営準備、会場への誘導や受付と場内での対応。この度は、縁の下の力持ちとコンサートの様子、両方をご紹介します。

「地域アクティビティ(ボランティア演習授業を履修する学生)」による活躍！

朝7時台から集まり、8時に本格的に設営作業を開始。9時過ぎからの演奏者の事前音リハーサルに間に合わせます。

前日、学生が摘んでおいたラベンダーの花束も、色紐で結わえ、テイクアウト用に準備し観客に大変好評でした！



【軽音楽サークル】



コンサートの最初を飾る「Melty♡Mellow」。「いいね、向こう(観客席)で聴きたい」…と、受付担当学生の言。



小泉今日子の「学園天国」で元気な盛り上がりを見せる「しゅまり」。カッコイイ！に尽きます。

【吹奏楽部】



今回、ガーデンコンサートに初登場の吹奏楽部！楽曲の途中で「楽器紹介」が挟まれ、重くて大きなチューバ、意外な音を出す楽器に観客からの歓声や小さな笑いが湧きます。

楽器を知ったところで演奏曲に耳を澄ますと…！味わいが深まることを教えてくれました。



【堀澤幸恵 & 大島さゆり】

最後は、清田区出身でピアニストの堀澤さん、フルート奏者の大島さんが、豊かな音楽を奏で、観客の皆さんが美しい調べに聴き入りました。



【ピアノ連弾同好会 れんだんず】

演奏者の息が合うことは勿論、2名が奏でるメロディは情感が込もり、迫力あるフレーズは力強く響き、聴く人を惹きつけます。

多様な世代の観客に向けて、親しみやすいよう多くの楽曲を披露してくれました。



腕をクロスして演奏

人文学部心理学科臨床心理専攻授業「ガーデニング演習」の学生によりデザインされた鮮やかなレイズドベッド ↓



今年も人気♡ハーブウォーター



緑の葉が煌めき、花が咲き誇るガーデン。人が絶えず、笑顔で手を振る子どもも。